

北部地域 療育センターだより

創刊号

❖ 発刊にあたって

所長 今枝 正行

暖かな春風、陽ざしが心地よく、新たな希望を感じさせてくれる季節となりました。当センターの運営につきましては日頃から格別のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

東区、北区、西区を担当地域に、子どもの発達支援の専門的相談機関として開設された当センターは今年で8年目を迎えました。近年、社会の発達障害への認識の広がりもあって当センターも多くの子どもたちに利用いただいております。この地域全体の中で約6%の子どもの来所があります。一人ひとりの子どもたちの支援を通して築かれる、地域の関係機関同士のフェイス・トゥ・フェイスのネットワークの発展の手ごたえを実感しているところでございます。

今後は保健所、保育園、幼稚園などとの横の連携とともに、幼児期から学齢期への移行期のネットワークの発展にさらに力を尽くしていく必要を感じております。また、成人期に向けての就労へのネットワークづくりや重度障害のある子どもたちの医療的ケアを含めた生活支援、家族支援の充実についても、名古屋市の福祉施策の体系構築に関わる重要な課題であり、今後の検討が待たれるところです。さらには、地域の全ての子どもと家族が、幼児期より地域としっかり関わりを持ちながら、社会の構成員として安心して堂々と成人していけるよう、地域福祉をさらに推進していくことも大切であると思えます。それは、障がい地域全体の課題として個人や家族を支援していく、少数派に優しい地域づくりでもあります。

見事な子育てをされているたくさんの親御さんがおられます。学齢期につながる素晴らしい統合保育を実践している保育園、個別の教育支援計画を作成し学齢期の万全の移行支援をされている幼稚園もあります。療育センターは、ご本人の努力はもちろん、それらご家族、支援者のみなさまの見事な実践を知ることのできる立場でもあります。特に後進の人たちを励まし導いてくれる親御さん方のお力は貴重な人的地域資源であります。

このたび、これらの思いを込めて、地域のみなさまへの情報発信をセンターだよりのかたちで開始することにいたしました。

みなさまよりのご意見、ご批評をお寄せいただければ幸いに存じます。

療育センターってどんなところ？

主に就学前のお子さんの育ちや不安を相談するところです。多い相談内容は、「ことばが遅い」、「歩き始めが遅い」、「落ち着きがない」、「かんしゃくをよく起こす」、「集団からはずれる」などです。

相談するにはどうすればいいの？ ～相談の流れ～

まずは電話でご相談ください。

保護者が
電話で予約



発達チェック
小児科診察

お子さんに
応じて

経過観察

理学療法

療育グループ

作業療法

通

園

言語療法

小児科診察の様子を紹介します！

小児科診察では、お父さんやお母さんなどからお聞きした話、発達検査の結果、実際に小児科の先生と遊ぶ様子から、お子さんの発達の状況をどのように見ていくといいのか、普段の生活でどんなことに気をつけるとよいか？といった具体的なお話があります。小児科の先生といえば、白衣を着て…といったイメージがありますよね。北部の先生は一味違います！学生時代野球部で鍛えた先生得意のバッティング、スライディングが見れますよ～。

～ある日の診察風景～



先生

こんにちは。小児科の今枝です。ケースワーカー、心理士からお子さんの様子を聞きました。お子さんは、少しことばがゆっくりめなのかな？

母

そうですね。ことばの一部は話します。例えば、りんごの“ご”。いつ頃になると喋れるようになるのですか？

先生

今は無理やりことばを出させるよりも、ことばかけは短く、例えば一緒に遊びながら、すべり台で“シュー”と擬音語を使うなど、楽しく遊ぶ中で、ことばが少しずつ増えてくると思います。あまり急がさないように。

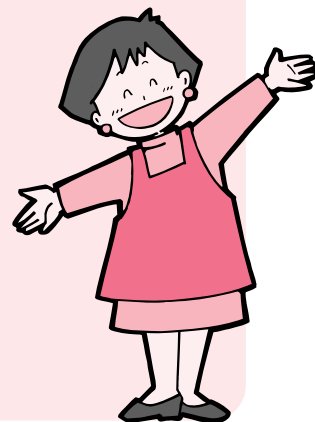
母

なるほど。焦らずゆっくりと、楽しく一緒に遊ぶことが大事なんですね。

初めて療育センターに来られたお母さんの声

障ががあったらどうしよう。遅れを認めつつも大丈夫かな？など、不安を持って来ました。

インターネットで自閉症を引くと余にもいろいろと書いてあり、実際のところどういうことが理解が難しく、該当しているところもあればしていないところもあり、どうなんだろうと一人悩んでいました。先生に相談して、こどもの発達状況や診断の説明、視覚に訴えること、例えば、カードを見せる、実物を見せて理解させるなどのアドバイスをもらって、今何をすればいいか少し分かり、来て良かったと思いました。



今回は療育グループ、通園の様子を紹介します。

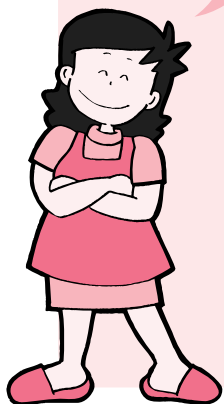
療育グループってなあに？



午前グループは、0～2才のお子さんを対象にしています。お子さんの発達状況や年齢などにより、グループ分けがしてあります。親子遊びなどを通して、お子さんの発達を促していきます。

午後グループは、保育園、幼稚園に通っている年少～年長のお子さんで、発達に遅れや偏りがある、集団からはずれやすく、場面に集中することが苦手で、十分に力を発揮できない…などの方を対象にしています。少人数の場で、お子さんが自信をつけたり、意欲を持てるような働きかけをしています。

参加されたお母さんの声



この一年なんとか通い続けることができました。感情が豊かになり、良い面も増えた反面、こどもの弱い面もいくつか出てきました。グループに通う中で、こうすれば苦手なことでもやれるという経験は、今後の自信につながり、貴重な体験でした。また、一緒に2人だけで参加したことが、母子の絆をより深めたと思います。

親子共に学びましたし、仲間が出来て嬉しかったです。私にとっては、不安な部分がかかり無くなりました。

通園ってなあに？

通園では、発達援助が必要な就学前のお子さん40人（定員）を対象に、次のことを目標として、親子通園や単独通園の形態で療育を行っています。



- 毎日の生活リズムを整え、いろいろな遊びや運動を通して丈夫な体づくりをする。
 - 毎日の規則正しい生活の中から、食事・排泄・着脱衣などの基本的な生活習慣をつくる。
 - 遊びや課題を通して、お友だちと関わりながら集団参加を楽しむ。
- また、遠足や運動会のような季節ごとの行事や保護者学習会・懇談会・家族参観などを行っています。

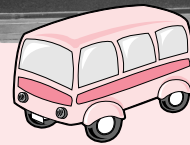
子どもたちの一日



10:00 登園バス到着
・朝の会
・主活動



15:00 降園バス出発



12:00 給食
・昼寝
・室内あそび
・おやつ
・帰りの会

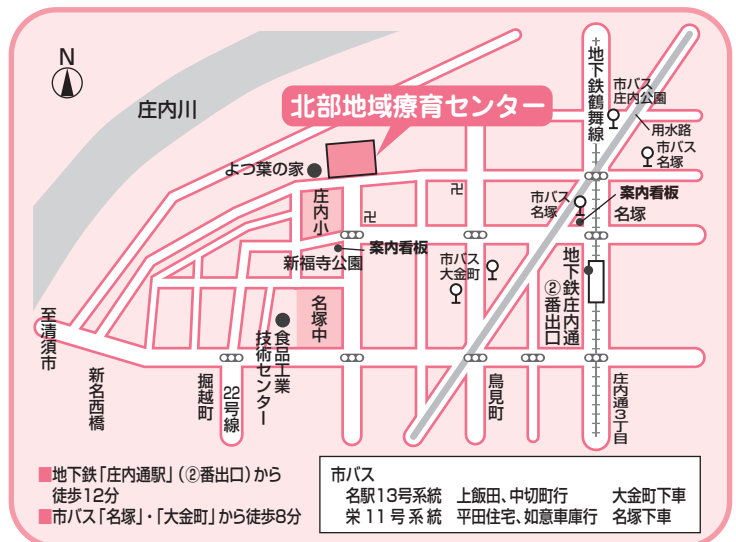


*** ボランティア募集中 ***

センターでは保育活動のお手伝いをしているだけの保育ボランティアを募集しています。

- ◎ 保育活動のお手伝い
(室内の活動、園外への散歩など)
- ◎ センター行事のお手伝い
(運動会、夏祭りなど)
- ◎ 通園児の弟妹の保育
- ◎ 教材作りや環境整備など

短期間、短時間でもかまいません。お気軽に下記までお問い合わせください。



名古屋市北部地域療育センターだより 創刊号

発行日 2010年4月

編集・発行 名古屋市北部地域療育センター

〒451-0083 名古屋市西区新福寺町2丁目6番地の5

TEL (052) 522-5277 FAX (052) 522-5279